

2020年4月1日
日本銀行北九州支店

北九州・京築地区の金融経済概況

(2020年4月1日)

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<https://www3.boj.or.jp/kitakyushu/gaikyo/subgai.htm>)



1. 総論

北九州・京築地区の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による強い下押し圧力のもとで、弱い動きとなっている。3月短観（全産業）をみると、企業の業況判断は大幅に悪化した。

最終需要の動向をみると、公共投資は、堅調に推移している。輸出は、弱めの動きとなっている。設備投資は、前年の反動から製造業を中心に減少している。個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全体としては弱い動きとなっている。住宅投資は、弱い動きとなっている。

こうした中で、生産は、弱めの動きが広がっている。雇用情勢をみると、労働需給は、足もとでは新型コロナウイルス感染症の影響により一部で緩和の動きがみられるものの、全体としては引き締まった状態が続いている。

【前回との比較】

項目	前回	今回
景気判断	基調としては緩やかに拡大している。ただし、足もとでは新型コロナウイルス感染症の影響がみられている。	<u>新型コロナウイルス感染症の影響による強い下押し圧力のもとで、弱い動きとなっている。</u>
需要項目	公共投資	堅調に推移している。
	輸出	弱めの動きとなっている。
	設備投資	前年の反動から製造業を中心に減少している。
	個人消費	<u>新型コロナウイルス感染症の影響により、全体としては弱い動きとなっている。</u>
	住宅投資	<u>弱い動きとなっている。</u>
生産	新型コロナウイルス感染症の影響により、足もとでは弱めの動きとなっている。	<u>弱めの動きが広がっている。</u>
雇用	労働需給が引き締まった状態が続いている。	<u>労働需給は、足もとでは新型コロナウイルス感染症の影響により一部で緩和の動きがみられるものの、全体としては引き締まった状態が続いている。</u>

2. 需要項目別動向

公共投資は、堅調に推移している。

輸出は、弱めの動きとなっている。

設備投資は、前年の反動から製造業を中心に減少している。

3月短観における2020年度の設備投資は、前年を下回る計画となっている。

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全体としては弱い動きとなっている。

大型小売店（百貨店・スーパー・複合商業施設）売上高や量販店（ディスカウントストア・ホームセンター等）売上高をみると、足もとでは外出自粛の動きから客数が

減少する中、食料品や日用品ではまとめ買い需要がみられるものの、衣料品や身の回り品、外食は低調に推移している。

乗用車新車登録台数（2月）は、前年を下回った。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

3. 生産

生産は、弱めの動きが広がっている。

▽業種別生産動向

鉄鋼	高炉	弱含んでいる。
	電炉	弱含んでいる。
化学		高水準で推移している。
セメント		幾分弱含んでいる。
住設機器		新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。
電気機械		横ばい圏内で推移している。
電子部品		横ばい圏内で推移している。
自動車		弱めの動きとなっており、足もとでは新型コロナウイルス感染症等の影響がみられている。

4. 雇用

雇用情勢をみると、労働需給は、足もとでは新型コロナウイルス感染症の影響により一部で緩和の動きがみられるものの、全体としては引き締まった状態が続いている。

5. 物価

消費者物価（除く生鮮食品、北九州市）の前年比は、1%程度となっている。

6. 企業倒産

企業倒産をみると、落ち着いた動きとなっている。

7. 金融情勢

実質預金残高は、前年を上回って推移している。貸出金残高は、前年を上回って推移している。

この間、貸出約定平均金利（都銀・地銀・地銀Ⅱ平均、総合<ストック・ベース>）は、低下傾向が続いている。

以 上